

学年を超えた絆で掴んだ栄光



昨年に引き続き金賞を受賞したクラリネットパート。緊張せず、実力を発揮できたという

クラリネットパートは『風影』という曲をクラリネット七重奏で演奏し金賞を受賞した。パトリックの豊永明日香さん(2E)と1stを担当した角井さん(2B)、4thを担当した平田莉奈さん(1E)にインタビューをした。

井里坂さん(2B)、4thを担当した平田莉奈さん(1E)にインタビューをした。クラリネットパートでは、11月の下旬ごろからほぼ毎日練習を重ねてきたという。人数が多いので1人が練習して掛かると、みんなに迷惑が掛かってしまうということが大変でした。とパート練習を振り返る豊永さん。難易度の高い箇所は通常よりも速度を落としたり音やリズムを合わせる練習をしたそう。また、今年例年とは違い1年生も出場した。平田さんは個人の練習について「連符などの難しい部分でみんなに追いつくのに苦労しました」と話す。感染対策としては手指消毒と換気をこまめにしたそう。また、今回のコンテストは無観客で行われ、結果はネットで発表された。コンテスト当日、角井さん

は「合わせにくいところが一番で合わせられるか緊張していました」と語る。しかし、客席に審査員しかいなかったこともあり、3人とも緊張せず演奏できたという。豊永さんは本番後『できた。行けそう』という気持ちでした。と話す。結果は金賞。平田さんは「練習の成果が出て良かったです」と語った。今後について平田さんは「今回の経験を生かして次の演奏会では、もっと良い演奏をしたいです」と意気込む。角井さんは「みんなの前で演奏するのがあと定期演奏会だけなので、2年分の成果を発揮したいです」と話した。また、豊永さんは「いつ練習が再開できるかわからないけれど、いつでも再開できるように準備しておきたいです」と前向きに語った。今後の吹奏楽部の活躍も注目だ。

練習中は感染対策を徹底
第44回東京都高等学校アンサンブルコンテストが1月5日に行われた。吹奏楽部のクラリネットパートは、11月の下旬ごろからほぼ毎日練習を重ねてきたという。人数が多いので1人が練習して掛かると、みんなに迷惑が掛かってしまうということが大変でした。とパート練習を振り返る豊永さん。難易度の高い箇所は通常よりも速度を落としたり音やリズムを合わせる練習をしたそう。また、今年例年とは違い1年生も出場した。平田さんは個人の練習について「連符などの難しい部分でみんなに追いつくのに苦労しました」と話す。感染対策としては手指消毒と換気をこまめにしたそう。また、今回のコンテストは無観客で行われ、結果はネットで発表された。コンテスト当日、角井さん

吹奏楽部クラリネットアンサンブル金賞



351号
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2021

みんなでつくる
錦城高校新聞

アンサンブルコンテスト
で金賞を受賞した
吹奏楽部クラリネット
パートに取材しました

SNSを安全に使うために ～1年生情報集中講義～

1月19日(火)の5、6時間目に第一体育館で、1年生を対象にSNSの危険性についての情報集中講義が行われた。



日頃のSNSの使い方を見直してみよう

講師はアディッシュ株式会社スクールガーディアン事業部の渡邊いずみさん。講義では最初にSNSとは何かについて説明し、次に「SNSは便利で楽しいものですが、使い方を間違えると危険なものになります」とSNSの危険性について具体的なシチュエーションを挙げながら解説した。文字だけのコミュニケーションは表情が見えず伝わりにくいので電話を使ったり、SNSに動画や写真を投稿する際には背景に注意したりするなど慎重に行うべき点が多くあるという。また、誹謗中傷や盗撮といった罪に問われる行為をしないように注意して欲しいと錦城生に向けて語った。

渡邊さんは自分は大丈夫と思っている人ほどSNSの事件に巻き込まれやすいと話す。「この講義を自分事として受け止め、SNSとの付き合い方について行動を起こして欲しいです」と締めくくった。(鳥)

むらさき草

昨年社会現象になった『鬼滅の刃』。2学期中間テスト後、今さらながら母に薦められてアニメを1話から見てみたのだが、圧巻の戦闘シーンに加え、仲間や家族のストーリーに心を惹かれ、最終話まで見てしまった。一番感動したのは力強い「言葉」だった。特に、主人公の炭治郎がピンチのたびに「頑張れ」という言葉を用いて自分を鼓舞していたことが印象に残っている。▼普段何気なく使う「頑張れ頑張れ」という言葉だが、どのような意味が込められているのだろう。疑問に思い、最終話視聴後に辞書を引いてみた。「①外圧や困難に屈することなく最後まで、信念を貫き通す。②持てる力をフルに出して努力する。(新明解国語辞典より)▼なるほど、①は気持ちで②は行動についての意味なのだ。2学期中間テストまでは勉強の際に集中力が持続せず、すぐに投げ出しがちだった。その結果、テスト当日までにやりたい勉強が全て終わらなかつたことがあった。そこで、2学期期末テストのときから勉強が面倒に感じ諦めかけた際には「①絶対に高得点を取る!」という信念を貫け!」そして「②自分の限界を超えて勉強に励みなさい!」という意味を込めて自分に「頑張れ!」と訴えかけて鼓舞することにしている。▼その甲斐あって自分のモチベーションも上がり、STEPやセミナー、漢字などを毎日計画した通りの量こなせるようになった。▼この先、定期テストのみならず小テストや日々難しくなっていく勉強にやる気を失うことが必ずあるだろう。そんなときはこの「頑張れ」という言葉を自身にぶつけて、心を燃やして、弱い自分に打ち勝ちたい。(ま)